

平成31年度調査研究計画説明会 挨拶

平成31年4月24日
幌延深地層研究センター所長 山口 義文

- 本日はお忙しい中、幌延深地層研究計画 平成31年度調査研究計画の説明会に足をお運びいただき、ありがとうございます。
- センター所長を務めております山口と申します。
- まず、最初に、4月9日に起きました当センター地下施設 西立坑深度250m接続部での火災について、ご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。本日の説明の中で、進めております原因究明、再発防止策等について報告させていただきます。
- 本日は、平成31年度の調査研究計画をご説明させていただきますが、これまで着実に成果をあげつつ研究開発が出来ましたのも、幌延町を中心とする地域の皆さまのご理解、ご支援の賜物と深く感謝しております。
- 機構の中長期計画に示している通り、平成31年度末までに、研究終了までの工程やその後の坑道の埋め戻しなどを含む全体の計画を策定する予定であり、これまでの成果の取りまとめを行いつつ、将来の計画の検討を進めております。
- いずれにしても、機構の事業の実施において幌延町および北海道との間で取り交わした三者協定が大前提ですので、「放射性廃棄物を持ち込まない」、「研究が終わったら地下の施設は埋め戻す」といった約束をしっかり守りながら、公明正大にかつ最大限の成果が得られるように進めていきたいと考えております。
- これから平成31年度の調査研究計画を説明させていただきますので、ご意見等いただければと思います。
- 今後とも、安全を第一に情報公開を徹底し、着実に研究開発を進めていきますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。